

# 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月15日

事業ID:2023008995

事業名:鹿児島県和泊町における「子ども第三の居場所」(A)常設ケアモデルの運営(3年目)

団体名:特定非営利活動法人心音

代表者名:理事長 安徳建二

TEL:0997-92-3800

事業完了日:2024年3月31日



## ■契約時

事業費総額	:	14,400,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	14,400,000 円

箇所は「収支計算書」より自動転記

## ■事業完了時

事業費総額	:	15,553,986 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	1,153,986 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	14,400,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

## 1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

### ■事業内容1

#### (1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 鹿児島県和泊町における「子ども第三の居場所」(A)常設ケアモデルの運営
(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日(週5日、10時から16時まで開所)
(2)場所:鹿児島県沖永良部島 特定非営利活動法人心音敷地内
(3)対象:課題を抱えた小~高校生を中心に40名
(4)内容:「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。農業や釣り体験、地域の方々に指導してもらう習字や英会話・プログラミングを通じて、子どもに多様な経験を提供する。

#### (2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 鹿児島県和泊町における「子ども第三の居場所」(A)常設ケアモデルの運営
(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日(週5日、10時から16時まで開所、必要に応じ延長)
(2)場所:鹿児島県沖永良部島特定非営利活動法人心音敷地内
(3)対象:課題を抱えた小~高校生を中心に46名
(4)内容:「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。農業や釣り体験、地域の方々に指導してもらう習字や英会話・プログラミングを通じて、子どもに多様な経験を提供した。



#### (3)成功したこととその要因

事業を実施し成功したこと、その理由を記載してください。  
沖永良部島全島の困り感のある子どもと保護者支援につながったことで、登録児が増加した。子ども一人ひとりの個性が大きく開花した。

#### (4)失敗したこととその要因

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。  
登録児・体験児が増加したことで、支援体制、スタッフ不足が生じ利用日・回数の調整を行った。

(5)事業内容詳細

上記「(2)事業完了時の事業内容(実績)」の詳細について、ご記載ください。別途報告書を作成されている場合は、それを添付いただければ省略可能です。

学習支援、生活習慣支援、就労体験(農業、カフェ運営)、軽音楽部、バドミントン部、調理実習、書道、子育て相談会

## ■事業内容2

### (1)契約時の事業内容

(5)子育てフォーラムの実施  
島の子育て環境の課題に島民が関心を持ち学ぶ機会の創出  
(6)職員研修 県内関係者ネットワーク  
(7)報告書を作成し、関係機関(島内においては行政、小中高等学校、県担当課、児童相談所、志学館大学、徳洲会病院、社会福祉協議会等の諸 団体)に配布  
・事業報告会の開催(対象:行政、学校、関係機関、島民)  
・鹿児島県、大島郡等の地方新聞を活用した事業開始および報告の周知

### (2)事業内容の実施(完了)状況

(5)子育てフォーラム 実施  
2024年1月27日(土) 参加者101名  
(6)職員研修6回実施(4月2回 9月 10月 11月 12月)県内関係者ネットワーク(福祉 教育 医療)  
(7)報告書の配布 6月頃実施予定  
関係機関(島内においては行政、小中高等学校、県担当課、児童相談所、志学館大学、徳洲会病院、社会福祉協議会等の諸 団体)に配布  
・事業報告会の開催(対象:行政、学校、関係機関、島民)  
・鹿児島県、大島郡等の地方新聞を活用した事業開始および報告の周知



### (3)成功したこととその要因

小中高校との連携が強固となり研修会や保護者講演会も合同実施することが出来た。子どもの学びの多様性を肯定することに繋がり保護者の不安の払拭や学校連携は子ども支援の大きな成果となった。また、鹿児島県知事や県教育庁からの視察が実施され、鹿児島県のHPに登録され支援の領域が広く県内へと拡充された。

### (4)失敗したこととその要因

特になし。活動はすべて成長へ繋がった。

### (5)事業内容詳細

子育てフォーラム、職員研修写真の添付

## ■事業内容3

### (1)契約時の事業内容

### (2)事業内容の実施(完了)状況



### (3)成功したこととその要因

### (4)失敗したこととその要因

### (5)事業内容詳細

## ■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

**助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の目標欄の内容を転記してください。**

運営事業

1. 利用児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援、体験活動などの安定的な提供
  2. 子育て中の親への相談会の実施
  3. 子育て支援ネットワーク会議の開催(年3回)  
ボランティア等の地域住民や、行政、学校、医療との関係構築
  4. 子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に毎月1回は実施する
  5. 子育てフォーラムの実施 島の子育て環境の課題に島民が関心を持ち学ぶ機会の創出
  6. 職員研修 県内関係者ネットワーク
  7. 報告書を作成し、関係機関(島内においては行政、小中高等学校、県担当課、児童相談所、志學館大学、徳洲会病院、社会福祉協議会等の諸団体)に配布
- ・事業報告会の開催(対象:行政、学校、関係機関、島民)
  - ・鹿児島県、大島郡等の地方新聞を活用した事業開始および報告の周知

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	266	文字数チェック	OK
-------	-----	---------	----

**事業完了後の目標達成状況を700文字以内で明記してください。**

**※目標を複数設定している場合は、各目標ごとの達成状況を個別に記入してください。**

- 1の達成状況 → 安定的な支援ができた。
- 2の達成状況 → 3回実施するとともに、常時相談を受け付けられる体制を整えて都度実施した。
- 3の達成状況 → 計画通り3回相談会の実施。
- 4の達成状況 → 農業体験 就労体験 地域交流会 社会体験学習旅行等実施達成できた。
- 5の達成状況 → 2023年1月27日に実施した。
- 6の達成状況 → 6回開催した。
- 7の達成状況 → 6月頃実施予定。

### 3.事業実施によって得られた成果

**事業完了後、事業成果が実現するまでにある程度の時間を要する場合、実現すると見込まれる事業成果**

事業報告書は、2024年6月頃に作成完了する予定です。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

本事業は、年度を重ねるにつれ県内外から多数の問い合わせや多くの視察訪問者を受け入れる事態となり、反響は拡充の方向です。また、本年度は、鹿児島県知事、鹿児島県教育庁からの視察や意見交換会も開催され、本事業に対する県の関心度の高さも確認するものでした。

子どもの実態は、不登校児、家庭の困窮に影響されその増加は顕著ですが、居場所における子どもの活動は、大きな心の変化・成長、自己肯定感の高まりを感じます。

このような現状下、子育てを地域ぐるみで考えようと啓発するシンポジウムも開催することが出来ました。

福祉・教育・医療・保護者が一堂に会し、今後の子育てを共に考える機会となりました。

利用児は、活動する中で仲間が増え、交流する楽しさを体感し、自己肯定感が増す中で将来への夢や希望も語ることが出来るようになっていきます。可能性が無限大と実感するスタッフであり、保護者や家庭にとって子どもを認める機会となり心にゆとりが生まれてきています。

鹿児島県のHPIに、子どもの居場所ダ・ヴィンチが登録されました。

### 5.事業成果物

#### (1)助成契約書記載の成果物名称

**助成契約書記載の成果物名称を転記してください。**

事業完了報告書

#### (2)事業完了時の成果物名称

**実際に作成した成果物の名称を記載してください。**

**※チラシ、ポスター等の印刷物については作成枚数を追記いただけますようお願いいたします。**

事業完了報告書  
子ども第三の居場所概要チラシ



#### (3)未作成となった要因

**契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。**

特にありません。

#### (4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ <https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gragui01-1.pdf> (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

**上記で登録したURLをご記載ください。**

<https://fields.canpan.info/help/organization6.html>

# 2023年度 収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:%)

団体名: 特定非営利活動法人心音

契約書(記3)に記載の補助率

100

事業名: 鹿児島県和泊町における「子ども第三の居場所」  
(A)常設ケアモデルの運営(3年目)

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B) 自動計算	受入済額 (C)	未収額	助成金返還見込額
				自動計算(A-C)	自動計算(A-B)
① 日本財団助成金収入	14,400,000	14,400,000	14,400,000	0	0
② 自己負担	0	1,153,986	1,153,986		
③ 収入合計	14,400,000	15,553,986	15,553,986	0	0

(支出の部)

(単位:円)

費目	日本財団承認済の 予算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額	補足説明、備考
				自動計算(y-z)	
謝金	360,000	286,000	286,000		
旅費交通費	435,280	1,108,545	1,108,545		
食材	1,200,000	1,489,437	1,489,437		
印刷製本費	60,000	0	0		
消耗品費	480,000	226,698	226,698		
備品費	200,000	309,400	309,400		
光熱水費	984,000	671,603	671,603		
通信運搬費	270,000	131,783	131,783		
雑費	320,000	411,580	411,580		
人件費	10,080,000	10,860,951	10,860,951		
施設利用料	6,000	2,989	2,989		
その他	0	55,000	55,000		
支出合計(端数調整前)	14,395,280				
端数調整欄	4,720				
④ 支出合計(端数調整後)	14,400,000	15,553,986	15,553,986	0	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

## 【返還見込額の発生有無】

返還見込額の発生
無し

※「有り」の場合は予算額に対し決算額が下回っているため、返還金が発生する可能性があります。

## 【一致確認】 ※NGが出た際は、入力間違っているかもしれませんので該当項目を再確認してください。

予算額(A)③収入合計 = 予算額(x)④支出合計	OK
決算額(B)③収入合計 = 決算額(y)④支出合計	OK
受入済額(C)③収入合計 - 助成金返還見込額 = 支出済額(z) + 未払額④支出合計	OK

## セルフチェック項目 (プルダウンで選択)

- ① (収入の部)の予算額(A)の①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。
- ② (収入の部)の予算額(A)③収入合計と (支出の部)の日本財団承認済の予算額(x)④支出合計が一致しているか。
- ③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。